



発行:まちだ皇介事務所
〒362-0015 上尾市緑丘3-6-32
TEL/FAX 048-793-4811
Eメール k.machida@ba.wakwak.com
ホームページ http://k-machida187cm.com/

まちだ皇介

3月定例会 2/25~3/21

まちだ皇介

の一般質問 その1 〈抜粋〉



●行政組織の再編成について



平成 25 年度の当初予算では「組織再編実施事業」として 670 万円程が計上され、説明によると、平成 26 年度中の実施に向けて組織再編検討 PT(プロジェクトチーム)を中心に組織再編の取り組みを進めていくとのことだが、今回の組織再編における目的とポイントは?

●担当部長答弁……………
組織再編における目的は、スラップ・アンド・ビルドを基本として、重複する事務事業の再構築を図り、機能的かつ効率的な市民サービス体制を整備し、人件費を含めたコストの削減に努めていくことであり、主なポイントは、上下水道の統合や相談窓口や証明書発行窓口の統合など、ワンストップサービスを検討していくことである。



これまでも組織の名称変更や統合などを行っているが、これまでの組織再編と今回の再編の違いは?

●担当部長答弁……………
今回は、上尾市組織再編検討 PT を設置し、庁議や次長会議等、既存の組織から意見を取り入れながら進めていくボトムアップ方式で検討している。初めに PT のメンバーが担当部署のヒアリングを実施し、業務の拡大、縮小、廃止、統合、移管事務、他の部署と重複する事務の有無などを確認するとともに、当該部署の事務量が適切であるかを判断し、レイアウトや職制を含め、市全体の事務事業を見直す点がこれまでとの違いである。



組織再編検討 PT の構成と役割は?

平成 26 年度から実施するということが、実施に至るまでの工程は?

●担当部長答弁……………
PT は、平成 24 年 11 月 1 日に各部から主幹クラスを中心に 20 名の職員で構成しており、役割は、より効果的かつ効率的な組織体制の構築に向け素案を提言していくことである。平成 25 年 4 月以降は 14 名で事務分掌や実施計画の素案作りなど組織再編に関することを担当し、残りの 6 名が 1、2 階の窓口レイアウトや自動交付機、コンビニ交付、コールセンター導入の検討など、ワンストップサービスについて担当し、役割を分担して進めていく予定である。
また、工程については、平成 26 年 4 月の実施を予定している。それまでに基本方針、組織、事務分掌を確定し、実施計画書を策定する。その後、組織の条例改正や各部署のレイアウト変更に伴う補正予算案などの上程、市民への周知等を実施していく。1、2 階の窓口レイアウトやサインの変更に関しては、ある程度まとまった日数を要するので、平成 26 年 5 月の連休に工事を実施し、連休明けに利用が可能になるよう計画を進めていく予定である。



日本、地方自治体において深刻かつ根本的な問題として、人口減少という状況がある。

我が国の人口は、平成 16 年にピークを迎え、現在は減少局面に入り、平成 67 年には約 9,000 万人

と予測され、ピーク時の3の2になる。この意味するところは、労働人口の減少、加えて非正規雇用の割合は大幅に増加しているの、これから税収は大幅に減少していき、さらに高齢化も急速に進み、平成 67 年には高齢化率は約 40%となり、社会保障費は大幅に増加をする。加えて、施設の老朽化による建て替え、大規模修繕という難局も迎えているわけで、自治体として将来にわたって持続可能な行政運営、方策を今から考えていく必要がある。そのためには、今からマクロ的な視点で将来にわたる行政運営、まちづくりを戦略的に考え、また、中長期の課題は広範多岐にわたるので、部署間においても横断的に対応できる組織が必要ではないかと考える。そこで、市長直轄の中長期の課題に対応していく戦略的組織の創設について、以前も提案した自治体内シタックについての見解を伺いたい。

●担当部長答弁……………
組織再編の検討にあたっては、上尾市総合計画の着実な推進を図るとともに、市長マニフェストを具現化するため具体的な検討項目を定める必要がある。そのためにも、議員さんのご指摘のように市の課題を調査、分析し、政策の提言を行うような部署を設置することは重要であると認識している。

…【まちだの意見】……………
地方分権の流れや市民ニーズが多様化・高度化し、職員にとっては日常業務の煩雑化や業務量の増加に追われる中で、職員数は年々減っていくという状況を見ると、自治体内シタックは比較的費用負担が少なく、職員の政策形成能力を高める、あるいは、効果的かつ効率的な政策形成ができるという観点からも理にかなっているのではないかと思います。組織再編にあたり再度検討していただきたい。

◆◆◆◆◆その他の活動◆◆◆◆◆



3月10日、11日と上尾駅で募金活動を行いました。
2日間で、43,520円の募金をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

◆◆◆◆◆視察の報告◆◆◆◆◆

4月22日、23日に議会運営委員会と議会改革特別委員会の合同で議会改革の先進議会である三重県鳥羽市議会と松阪市議会を視察しました。



〈鳥羽市議会の主な特徴〉
議会改革ランキング 上位で視察が年 70 件以上／議会報告会の開催数が全国一／会派制を廃止／Twitterを活用／LINEを試行中／ユーストリム・ユチューブを使って全ての会議を公開／議場においてのタブレット端末の持ち込み可……等



議場にある大画面モニターは質問者や答弁者を映すだけでなく、タブレットを利用し、質問に関するデータや資料も映し出すことができます。

〈松阪市議会の主な特徴〉
一般質問や議案質疑等で市長等に対して反問権を、市長等・議員双方に反論権を付与／審議会等委員の就任辞退／正副議長選挙の立候補制導入／文書質問制度の導入／質問は総括・一問一答・分割方式の選択制……等



こちらはプロジェクターを利用し、質問に関する資料や写真を映し出すことができます。